

関西広域連合農林水産部（事務局：和歌山県） プロモーションアドバイザー派遣

2023年1月、プロモーションアドバイザーであるハラル・ジャパン協会の佐久間氏（以下、「アドバイザー」）を、関西広域連合農林水産部（事務局：和歌山県）に派遣しました。以下、派遣の概要についてご紹介します。

1 派遣概要

日 程	: 1月13日（金）14:00～14:30
派遣方法	: オンライン派遣（セミナー講師）
アドバイザー	: 一般社団法人ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間 朋宏 氏
派遣先	: 関西広域連合農林水産部（事務局：和歌山県）
派遣内容	: 近年注目されている認証（HACCP、ハラル、コーシャ等）やヴィーガン・ベジタリアン等への対応の重要性について、競争が激化している食品市場において差別化を図るため、食品輸出の観点から必要なアドバイスをいただいた。

2 助言内容

セミナーテーマ：競争力強化のための付加価値の創出について

○HACCP

- ・日本から食品を輸出するには、輸出先国が定める HACCP に対応し、衛生管理規格に準じた証明を求められた場合は応じなければならない。
- ・自社の HACCP 導入だけでは輸出基準を満たさないこともある。

○ハラル

- ・世界人口の 1/4 を占めるマーケットである。
- ・野菜、果物、穀物、水産物などの一次産品は基本的にハラルである。
- ・豚由来のものと、調味料・添加物に注意が必要である。
- ・ハラル認証はイスラム教徒（ムスリム）にとっての安全・安心のマークであり、ハラル認証がないとハラルビジネス（イスラム教徒向けの商品を輸出する、サービスを提供する）ができないというわけではない。
- ・ハラル認証には世界的な統一基準はないが、それぞれの認証団体独自で定めた基準があり、日本にも海外認証機関から相互認証を受けた団体が複数存在する。

○コーシャ

- ・コーシャ認証はユダヤ教徒にとっての安全・安心のマークであり、ハラルとは違い、食べ物のみ適用される。
- ・欧米では、安全・安心、健康に良いというイメージが定着しており、コーシャを好む人が増えている。
- ・コーシャ人口は少ないが、コーシャ対策は富裕層消費者獲得につながる。

○今後のビジネスアプローチ

- ・各種認証マークや対応表記が複数あると、より広いマーケットにアプローチできる。
例) ハラル+コーシャ
ハラル+ベジタリアン（ヴィーガン）
コーシャ+グルテンフリー 等
- ・「特定の宗教や食嗜好向けの食品」から「誰もが楽しむことができる食品（ユニバーサルフード）」を目指す。

3 関西広域連合農林水産部（事務局：和歌山県）からのコメント

派遣後、関西広域連合農林水産部の事務局である和歌山県からは、「分かりやすい資料・講演内容でした。視聴者からも役立ったという評価が多く、今後の輸出促進に向けた効果的なセミナーとなりました。」と御感想をいただきました。

▶ JHBAファイブグレードメソッドのすすめ

国際認証 (Halal, Kosher etc.) 国際認証 (宗教)

ローカル国際認証 (Halal, Kosher etc.) 国内認証 (宗教)

HACCP, GMP, FSSC22000 etc. 国際認証 (衛生、品質)

No Animal, No Alcohol or No Pork, No Animal 成分ハラル、成分コーシャ

No Animal (Vegetarian) or Vegan 成分ヴィーガン (ベジタリアン)

国際認証の考え方 © 2022 Japan Hotel Business Association 6

講演の様子（佐久間 氏）

弊協会では引き続き、専門的知見、ノウハウ、経験をもつアドバイザーの派遣を通して、自治体の海外プロモーションを支援してまいりますので、是非お気軽に御相談ください。

（経済交流課 辻脇）